



特集

障害者が 伝統職人になる

日本のいずこでも、後継者がいないという声を聴く。でも、よく見渡せば、身近なところに後継者がいた。

鳥根の伝統芸能・石見神楽の装束づくりは、

障害者施設が支えている。

地元の経済もうるおしている。

滋賀の近江では、「近江真綿」の伝統技術の継承が

障害者に託されている。

地元を離れがたい障害者こそ、

地元を支えるいちばんの仲間じゃないか。

編集部=文
text by KOTONONE
山本尚明=写真
photograph by Naoaki Yamamoto